

# 1月1日から 箱根神社宝物殿にて開催中!

新春  
特別展

## 「武士の誉れと箱根信仰」

### 信仰の強い力で忠義と孝行 人としてあるべき理想の姿を貫いた武人たち

渡辺 数馬  
飯沼 勝五郎  
浅田 鉄蔵・門次郎  
赤穂 四十七士…



荒木又右衛門



曾我五郎時致



曾我十郎祐成



大石内蔵助良雄

只今、箱根神社宝物殿において、特別展『武士の誉れと箱根信仰』が開催されています。

関東総鎮守と讃えられた箱根神社は、鎌倉幕府将軍・源頼朝による格別な庇護のもと、将軍自らの参詣にあずかり、「武家の守護神」として全国の武士から尊崇されました。また、武家の基本法典となつた『御成敗式目』に付された起請文(神仏に捧げる誓文)では、日本第一の武家起請(誓約)の社として尊ばれました。更に、当社が世間に広く信仰されるようになった要因に、仇討の嚆矢「曾我兄弟の仇討」があります。

仇討は家臣や近親者が、当人に代わって武士としての恥や無念を晴らす手段として行なわれましたが、それは自身の命に代えてでも恩に報いたいという誠意の発動ゆえに、特に忠孝を重んじた江戸期の武家社会において「武士の誉れ」と賞賛されると共に、成就に到る苦難や悲話が多く、文芸や錦絵等に採用されてゆく中で、人としてあるべき理想の姿として民衆に広

く支持され語り継がれました。中でも曾我兄弟は、赤穂義士をはじめ多くの仇討の手本とされ、兄弟が生涯尊崇した箱根神社は「所願成就の神」として厚く信仰されるようになりました。

今回の企画展は、江戸時代の人々に称賛された「仇討」に関する資料、特に錦絵を中心とした絵画や彫刻、古典籍などを展示し、忠義や孝行を大事にした日本人の考え方や、当社社に寄せた武人たちの信仰を紹介しています。

主な展示品として、曾我兄弟の事跡を綴つた貴重な古典籍で、今般修復を終えたばかりの「曾我兄弟縁起」「十番斬」をはじめ兄弟が用いた太刀として名高い宝刀「微塵丸」「薄緑丸」。また、十年ぶりの展示となる赤穂義士の一人一人の事跡と姿を描いた五十枚揃いの錦絵「誠忠義士伝」。更に四十七士の仇討決算書である「預置候金銀請拂帳」なども陳列されています。

皆様方には、このまたとない機会にご来館いただき、どうぞごゆっくりとご覧下さいますようお願い申し上げます。

尚、開館時間は九時から十六時三十分。但し入場時間は十六時迄とさせていただきます。

(権禰直 上岡芳隆)